

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」は、九州（福岡、佐賀、長崎、熊本、鹿児島）・山口を中心に静岡県伊豆の国市や岩手県釜石市など全国8県11市に分散しており、相互に密接な関係性があり群として全体で1つの価値ある資産として、2015年のユネスコ世界文化遺産に登録された。

西洋から非西洋への産業化の移転が成功したことを証言する産業遺産群である。19世紀後半から20世紀の初頭にかけて、日本は工業立国の土台を構築し、後に日本の基幹産業となる製鉄・製鋼、造船、石炭産業といった重工業において急速な産業化を成し遂げた。

産業化の歩みは試行錯誤での鉄製大砲製造への挑戦や、洋式船の模倣から始まった。次に、西洋技術の導入が行われ、技術の運用による専門知識の習得を行い、明治の後期には、国内に人材が育成され、国内需要や社会的伝統に合った西洋技術を積極的に導入し、産業化を完成させた。日本は非西洋諸国で初めて産業革命の波を受容し、僅か50年余りで植民地にならずして自らの手で産業化を成就した。明治日本の産業革命遺産は世界史における類い稀な局面を証言する遺産群である。

「明治日本の産業革命遺産」 製鉄・製鋼、 造船、石炭産業

8県11市23構成資産MAP



更に詳しい情報はこちらのHPへ
「九州・山口の近代化産業遺産群」
 世界遺産登録推進協議会

<http://www.japansmeijiindustrialrevolution.com/>

『明治日本の産業革命遺産』 2015年 世界遺産登録

8県11市の23資産がユネスコ世界文化遺産に登録されました。

19世紀後半から20世紀の初頭にかけて製鉄・製鋼、造船、石炭産業といった重工業において、日本は急速な産業化を成し遂げた。
 『明治日本の急速な産業の近代化』そのストーリーは、ここ山口県萩市から始まった・・・



山口県萩市の5資産

山口県世界遺産登録推進実行委員会(事務局 山口県教育庁社会教育・文化財課)

お問い合わせ先
 ■事務局 山口県教育庁社会教育・文化財課 〒753-8501 山口県山口市滝町1-1 TEL:083-933-4666 FAX:083-933-4669